

折々の記 No196 : 初めての御泊り！

(平成24年6月30日記)

今月27日から29日までの2泊3日、嫡孫のUが初めての爺・婆宅への御泊りであった。二人の子供、娘と息子を育て、孫娘の成長を見守ってきたが、男の子は激しく、やんちゃで悪戯っ子で、面倒見るのが大変だった。こんな筈ではなかったというのが正直な感想かな。

Uに会う度にお泊りに来るように言い聞かすのだが、決まって『行かない、御泊りしない！』と、断定的に言っていた孫が、意を決してお泊りに来るようになったのは、息子がそれなりの事前指導をしっかりとしたからだろう。

保育園に迎えに行ったところ、ジジィと喜んで飛びついてきたので、今回の御泊りは成功だと確信したのは糠喜びだった？

電車で新座に前進中、先頭の車両から前方を眺めたいとかで、ドンドン先頭車両へ歩いていくので、ついていくのが大変。先頭車両では、抱っこしなければ見えないので片腕抱きしたのだが、そのうち眠ってしまい、重いこと重いこと、孫の成長は嬉しいが、ジジィもその分年を取るので大変なり。乗り換えもそのままの状態やらざるを得なかったのは言うまでもない。

家内の出迎えて乗車、婆が精魂込めて作った昼食を喜んでくれるかと思いきや、寿司が食べたいと贅沢振りを発揮、爺の家で食べるというので、テークアウトすることに。これが振り回され第2弾かな。

事前に息子宅から運んでいた幼児用自転車に乗せて、レジャー農園に、キュウリとトマトを収穫させるべく前進する。結構上手に乗るのだが、小生から離れてしまうのが困る。「待て、待て、ストップ」と声を掛けても応じて呉れぬ。車の通りの少ない所だから良いが、公道は怖い。

さて、ここからが彼の悪戯小僧振りの発揮だ。何時もは色々な人に元気よく挨拶出来る子が悪ふざけてか、わざと注意されるようなことばかり。ハサミを持たせてキュウリを採らせるのだが、わざと違うところを切ろうとする。それでも何とかして2本を収穫。中玉トマト二個が赤みがかっていたのでそれを彼に取らせようとするのだが、面白がって青い実をもぎ取る。何たることか。

隣の畑の叔母さんに大きい完熟トマトを貰った。彼の大好物だ。何を考えたのか、青い実をもぎ取って、彼女に「これお返しです。」と渡すのだから、これには彼女も大笑い。

スコップを使いたがるので、空いている所に穴を掘らせる。それなりに使えるのだが、掘揚げた土を、種を撒いた所に掛けるから止めさせるのに一苦労。



さて、次なる作業は水撒きである。子供はこういう作業が大好きなのだろう。ジョロを持って取水口に一目散、慌てて追いかける。

ヨタヨタして水撒くものだから種を撒いた箇所に足を踏み込む。どうなることやら。そして掘った穴に水を入れ、泥団子作りを始めてしまう。捕まえた虫を水に浮かべてしまう。洋服は泥だらけだ。

切り上げて帰宅、風呂場でシャワー。此处でも婆に抱き着いて泥をつけ、シャワーの水で服を濡らす。キャッ、キャッと嬉しそうなこと。お主は、悪やの一。

それからは何事もなく、夕食も食欲旺盛で結構だ。父親に仮面ライダーを制限されているからか、仮面ライダーを見せてくれと強請られる。そこは大甘の爺だ。パソコンのU-tubeでご満悦だ。



入浴する段になり、裸になった途端に急に思い出したのか、「パパ、ママ」としくしく。息子に云われた通りに仮面ライダーを見せて気を紛らわさせることとする。眠くなるまで見せるしかなかろう。

大分夜も更けてきて眠くなったようだ。ベッドをくっ付けてUを真ん中に川の字眠りだが、何年振りか？

動き回ること、その激しさに驚き、眠りを妨げられること甚だし。家内は耳朶を触られ齧られた？

翌朝、御機嫌良く起床。一人で起き出してきた。パパママ等と夕べ泣いたのも忘れたかどこ吹く風の如し。

プールに行こうということで、水着を忘れたので買いに行き、その足でプールへ。流石に平日の日中で、ひと気は少なく、監視員の眼もしっかり届く。滑り台で頭から滑るとし

っかりご指導を受け、温水プールの中央台に上ると怒られる始末だ。キャップや水中眼鏡を投げて喜んでいる。ふざけ過ぎ！

流れるプール、辛うじて足が届く。腰をもって浮かせて泳ぎの真似事をさせるのだが、まだその域ではないようだ。水を怖がらないからそのうち泳げるようになるだろう。

二日目の夜はもう大丈夫だった。

Uを連れてママの所へ。車中でのこと。前方車両のナンバー4桁の数字を足してご覧という何やら掌に書いている風(とは家内の言)であったが、正解を言い当てる。2, 3回繰り返しても大丈夫だから解っているのだろう。天才かな？尻取りなど到底無理かと思ったもののやってみるとある程度出来るからこれまた驚きだ。

何れにしろ無事に送り届けた。彼の心に何が残ったか？次回は喜んで来て呉れるだろう。それを期待している爺と婆でした。